

SD カードのフォーマット（例：Windows 8/8.1 の場合）



SD カードに書き込みが出来ない場合に SD カードをフォーマットすることにより、正常に書き込みが出来るようになります。

この作業は先に必要なファイルをパソコンにバックアップ（保存）した後に作業を行います。

1

SD カード（リムーバブルディスク）を接続すると、自動再生の設定が“ON”の状態の場合、画面右上に通知が表示されますので、タップまたはクリックします。

※右の画面が表示されない場合には取扱説明書の10ページ（自動再生が出来ない場合）をご参照ください。

リムーバブルディスク (F:)
タップして、リムーバブルドライブ に対して行う操作を選んでください。

2

実行する操作の欄に「フォルダーを開いてファイルを表示」が表示されますので、タップまたはクリックします。

リムーバブル ディスク (F:)

リムーバブルドライブ に対して行う操作を選んでください。



バックアップ用にこのドライブを構成
ファイル履歴



フォルダーを開いてファイルを表示
エクスプローラー



何もしない

3

ウィンドウが表示され、SD カードの内容が表示されます。

画像を参考に以下のファイルをコピーします。

- tpm-r (tpm-r.exe) (アプリケーション)
- pass (pass.ini) (構成設定ファイル)
- header (header.txt) (テキストドキュメント)
- Reports (フォルダ)

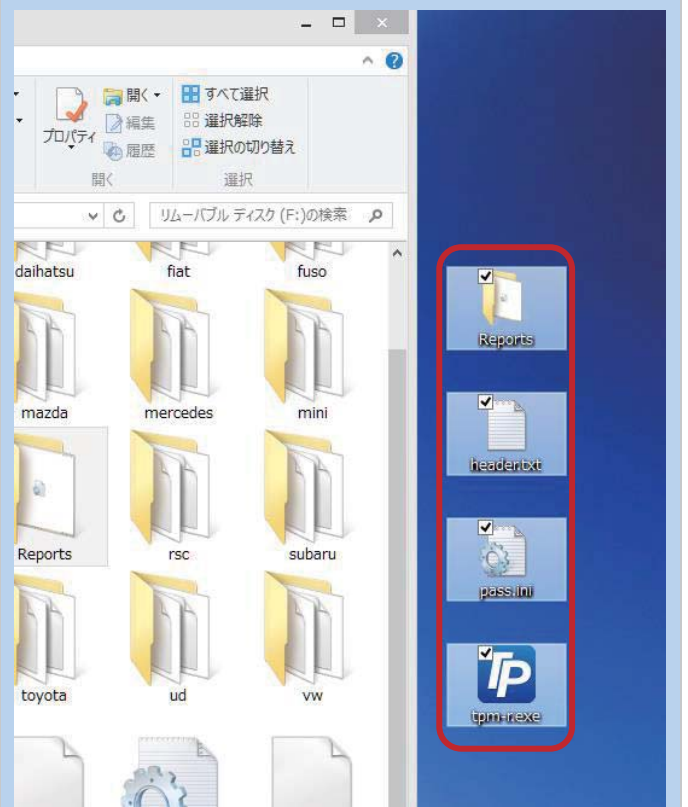
※Reports フォルダは、故障コードやデータ表示などで[保存]を実行した場合にファイルが保存されているフォルダです。保存していなければコピーする必要はありません。

ファイル/フォルダを右クリックしてコピー
→コピー先で右クリックして貼付けます。
または、選択したままコピー先へドラッグします。



4

パソコンへ必要なファイルのバックアップ（保存）が完了しました。

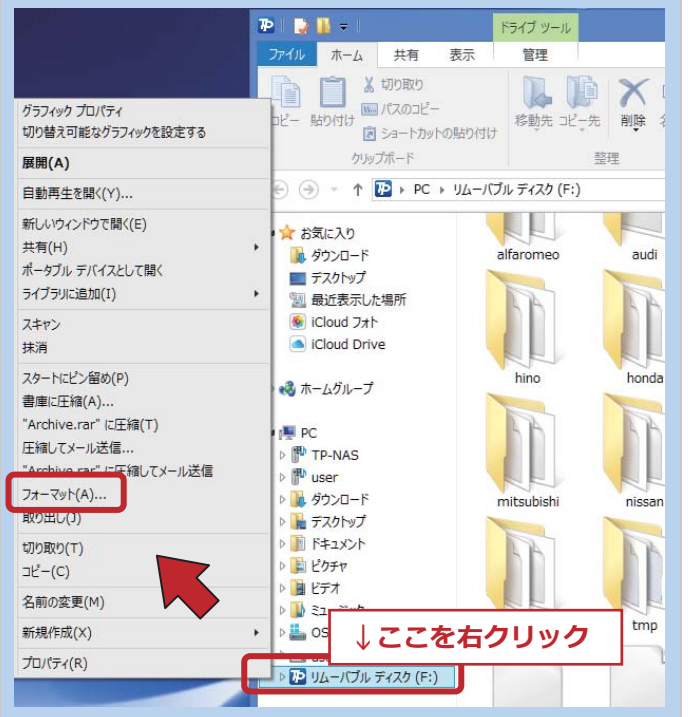


5

バックアップが完了したら、SD カードのフォーマットを開始します。
リムーバブルディスクを**右クリック**してフォーマットをクリックします。

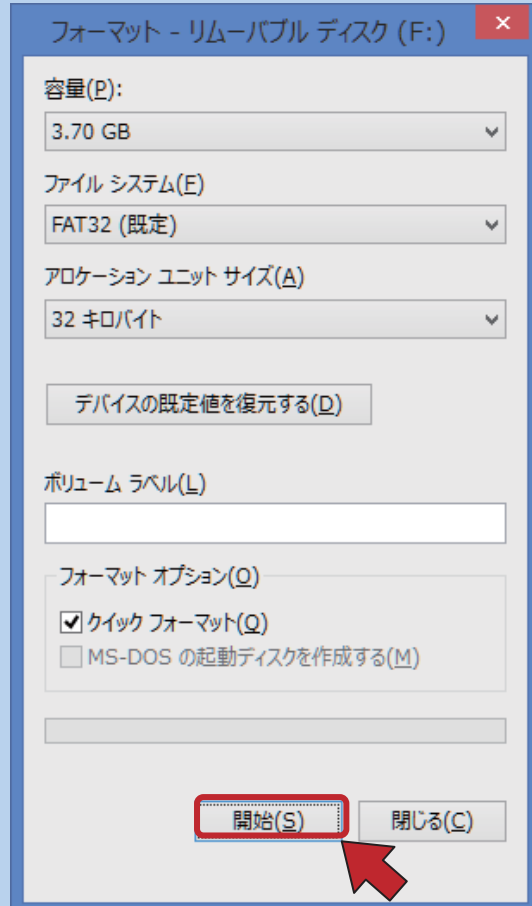


フォーマットするドライブは必ず SD カードが挿入されたドライブを選択してください。



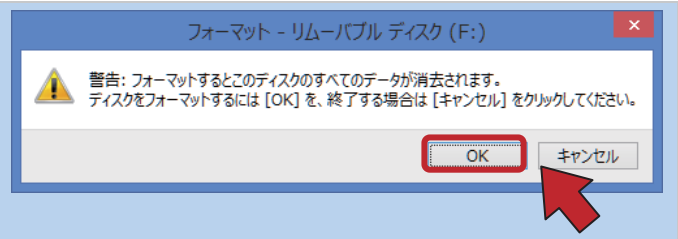
フォーマットの画面が表示されます。
SD カードが挿入されたドライブが再度確認して
[開始]をクリックします。

6



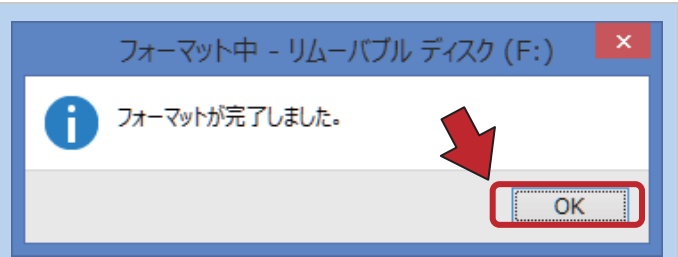
フォーマットの確認メッセージが表示されますので、確認後[OK]ボタンをクリックします。

7



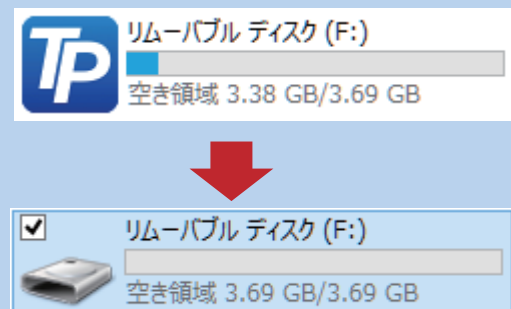
フォーマットが完了すると右のウィンドウが表示されます。
[OK]ボタンをクリックして終了します。

8



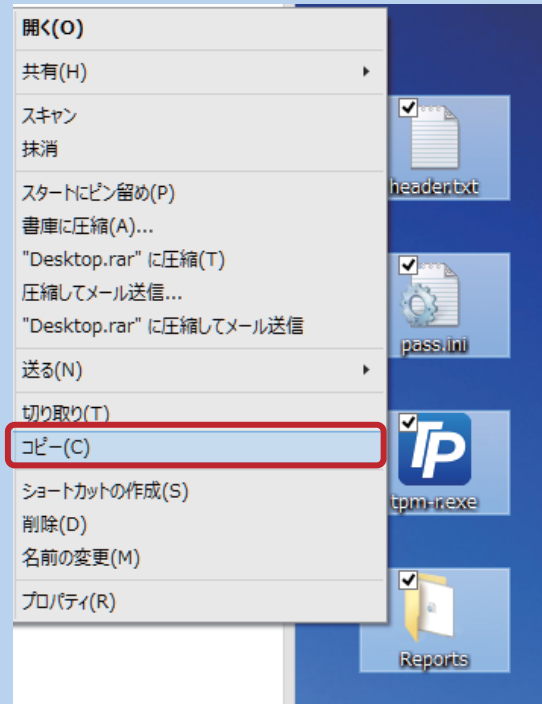
フォーマットが完了すると「リムーバブルディスク」のアイコンが通常のアイコンにかわります。

9



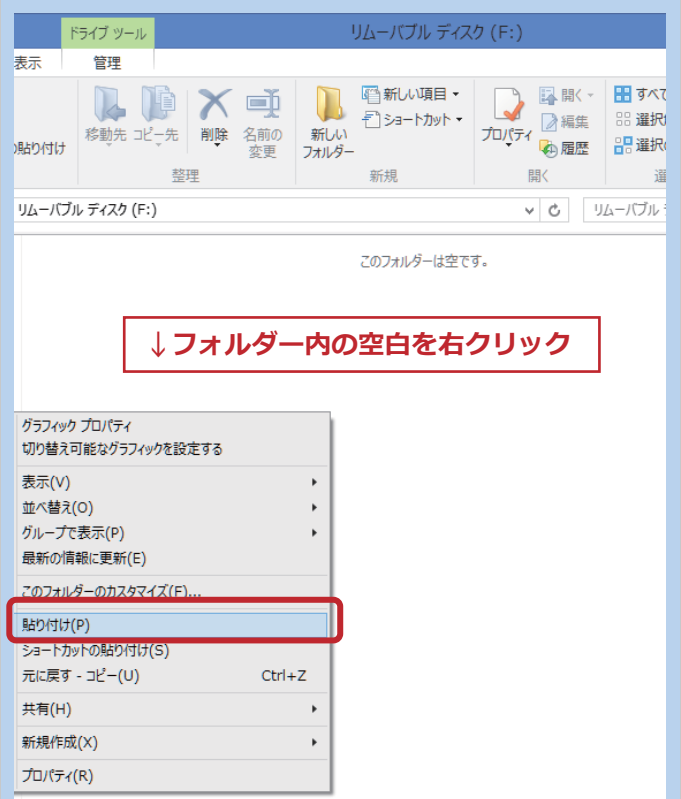
10

先程バックアップ（保存）した4つのファイルを右クリックしてコピーします。



11

フォーマットが完了したリムーバブルディスクに右クリックしてファイルを貼り付けます。



「リムーバブルディスク」に4つのファイルを貼り付けましたら、「tpm-r (tpm-r.exe)」をダブルクリックして起動します。

この後の作業は取扱説明書のP38「4. 診断ソフトのバージョンアップ方法」を参考にアップデートを行って下さい。

